

日 時 平成28年11月11日（金）  
9：50～10：35

## 1 題材名 「やってみよう つたえよう」

## 2 題材について

本学級には、男子1名、女子1名、男子1名の計3名が在籍している。A児は、日常生活全般において介助が必要であり、活動は基本的に教師と一緒に取り組んでいる。椅子に座っての活動は苦手だが、少しずつ落ち着いて座って活動に取り組むことができる時間が増えてきている。言語でのコミュニケーションは難しいが、教師に対して動作で要求を伝えようとする姿も見られるようになってきた。B児は、一人で取り組むことができる課題が増えてきたが、周囲の様子が気になり、活動に集中して取り組み続けることは難しい。語彙はまだ少ないが、自分の思いを言葉で伝えようとする意欲は高く、報告や援助依頼の場面では、カードを使いながら自分から伝える姿が見られる。C児は、文字や数への興味が高まっている一方で、手先の不器用さから日常生活動作で苦手なものも多い。語彙も多く、言葉で報告や援助依頼を行うことはできるが、自分から伝えることができず教師からの促しを待っていることが多い。

こうした実態を踏まえ、本題材では、学習の中で課題に取り組むことを通して「できた」という達成感を味わうこと、集団学習場面で友だちと一緒に活動したり、個別学習場面においては自分なりの方法で教師に援助依頼や報告をしたりすることを通して他者を意識したコミュニケーション力の育成を目指していきたい。繰り返し学習に取り組む本題材は、児童にとって見通しの持ちやすい学習であり、学習内容の定着を図る基盤となる学習態度を整えることができると考える。その中で、課題をやり遂げたという達成感や成功体験を積み重ねることで、「できた」という達成感が「できる」という自信に変わり、学習に対する意欲の向上や自己肯定感を高めることにつながると考える。コミュニケーション面においても、教師や友だちとのやり取りを重ねる中で、他者と関わることの喜びや楽しさを感じたり、自分の思いを伝えようという意欲を高めたりできると考える。

指導に当たっては、全体を通して、児童の学習への意欲が高まるような称賛や励ましの声かけを意識していきたい。集団学習場面では、児童が意欲的に活動に取り組むことができるよう、児童の好きな手遊びや歌、ゲーム形式の活動を取り入れていく。ゲーム形式の活動では、児童の実態に応じて、距離や高さ、使用する道具を変え、児童が達成感を感じることができるようにしていく。また、手遊びや歌の中に出てくるものの名前を答えたり、ゲームの中で数を数えたりする場面を設定し、言葉や数の理解も促していきたい。個別学習場面では、まず集団学習だった場を個別学習の場へ児童自身が自分の机や椅子などを移動させることで、気持ちを切り替えたり次の学習への見通しを持ったりすることができるようにしていきたい。課題は、児童の実態に応じて内容や形態、難易度を工夫し、個々のねらいが達成できるものにしていく。課題への集中が途切れたり、活動が止まってしまったりしている場合には、声かけや指差しを行い、課題に取り組むように促す。児童が報告をしたり、課題の途中で支援を求めたりしようとしている時には、児童が自ら伝えようとするまで待つ姿勢を心掛け、自発的な関わりを引き出していきたい。また、各課題における報告後の教師との確認の場面では、言葉や動作で称賛したり、シールやカードを手渡したりすることで、学習への更なる意欲の向上を図りたい。

### 3 題材目標

《自立活動》○決められた課題を、一人でまたは教師と一緒に取り組むことができる。

【心－（３）、環－（４）、身－（５）】

○自分なりの方法で、教師に自分から報告をすることができる。 【コ－（１）・（２）】

《国語》○ひらがな５０音を視写することができる。（Ｃ児）（２段階（４））

《算数》○時計を見て「○時」や「○時半」を答えることができる。（Ｃ児）（２段階（４））

### 4 題材指導計画（全１９２時間）

#### A児

|                       | 4月   | 5月 | 6月 | 7月 | 8月  | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月 | 3月 |
|-----------------------|--|----|----|----|---|----|-----|-----|-----|---|----|----|
| 一人でまたは教師と一緒に課題に取り組むこと | 教師と一緒に４つの課題に取り組むことができる。<br><br>(68時間)                            |    |    |    | 教師と一緒に５つの課題に取り組むことができる。<br><br>(本時 48 / 74時間)                                   |    |     |     |     | 決められた課題の内１つの課題を、一人で取り組むことができる。<br><br>(50時間)                      |    |    |
| 教師に自分から報告をすること        | 席を立てて行う課題において、課題を終えた後、自分の椅子に座り、課題を終えたことを伝えることができる。<br><br>(68時間) |    |    |    | 頭上に吊るされたものを取る課題において、全て取り終えた後、かごを教師に渡して課題を終えたことを伝えることができる。<br><br>(本時 48 / 74時間) |    |     |     |     | ものを分けて入れる課題において、全て入れた後、容器を教師に渡して課題を終えたことを伝えることができる。<br><br>(50時間) |    |    |

#### B・C児

|                       | 4月  | 5月 | 6月 | 7月 | 8月  | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月 | 3月 |
|-----------------------|---|----|----|----|---|----|-----|-----|-----|---|----|----|
| 一人でまたは教師と一緒に課題に取り組むこと | 教師の声かけを受けながら、決められた課題をやり遂げることができる。<br><br>(68時間)                 |    |    |    | 一人で、決められた課題をやり遂げることができる。<br><br>(本時 48 / 124時間)                                 |    |     |     |     |   |    |    |
| 教師に自分から報告をすること        | １つの課題を終える毎に、教師の所へ行き、教師に向かって「できました。」と言葉で伝えることができる。<br><br>(68時間) |    |    |    | 「できました。」と言葉で伝える際に、足型の上で両足を揃えた姿勢で伝えたり、課題を両手で手渡したりすることができる。<br><br>(本時 48 / 74時間) |    |     |     |     | 「できました。」と言葉で伝える際に、教師の顔を見て伝えることができる。<br><br>(50時間) |    |    |

5 本時の学習

(1) 本時の目標

| 児童 | 本 時 の 目 標  | 個別の指導計画目標   |
|----|--|---|
| A児 | <p>○教師の促しを受けて、上に張られたスカーフの中に果物に見立てたボールを入れることができる。</p> <p>○頭上に吊るされたものを取る課題において、6つ全て取り終えた後、かごを教師に渡して課題を終えたことを伝えることができる。</p> | <p>・まなびタイムでの個別課題の際に、課題が終わったことを動作（かごを手渡す、椅子に座るなど）で伝えることができる。</p> |
| B児 | <p>○ tong を使って、頭上に張られたスカーフの中に果物に見立てたボールを入れることができる。</p> <p>○ はさみを使い、線に沿ってコの字を切ることができる。</p>                                | <p>・ はさみを使い、線に沿ってコの字を切ることができる。</p>                              |
| C児 | <p>○ tong を使って、頭上に張られたスカーフの中に果物に見立てたボールを入れることができる。</p> <p>○ 時計カードと「○時」のマッチングを6個行うことができる。</p>                             | <p>・ 時計を見て「○時」や「○時半」を答えることができる。</p>                             |

(2) 本時の展開

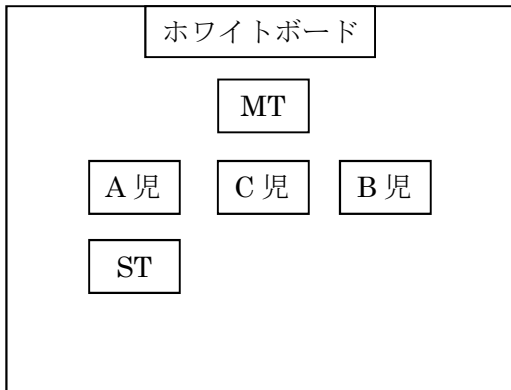
| 学習活動(全体)   | ○つきたい力      ★教師の支援  | ◆評 価   |
|--|---|--|
| 1 あいさつをする。   | ★全員が姿勢を整え、教師に注目してから号令をかける。  |  |
| 2 集団学習をする。<br>「ゲームをしよう」<br>・手遊び<br>あらいぐまの親子<br>・ゲーム<br>くだものあつめゲーム  | ○A児      腕を上げて、高い位置にある入れ物にも<br>のを入れることができる。<br>○B・C児   身体を伸ばして、高い位置にある入れ物<br>にもものを入れることができる。<br>道具を使い、ものを操作することができる。<br>★実態に合わせて、スカーフの高さを調整する。  | ◆A児      スカーフの中に<br>ボールを入れるこ<br>とができたか。<br>◆B・C児   トングを使<br>って、スカーフの中<br>にボールを入れるこ<br>とができたか。  |
| 3 個別学習をする。<br>A児<br>・吊るされたものを取る<br>・2種類のを各容器<br>に入れる<br>・水を入れたペットボ<br>トルを運ぶ<br>・型はめ<br>・トランポリン (中体)<br>B児<br>・両手で大豆を掬う<br>・はさみで切る<br>・単語のマッチング<br>・堅結びを解く<br>・2点結び<br>・ホワイトボードを使用<br>しての2点結び、線な<br>ぞり<br>C児<br>・時計のマッチング<br>・反対言葉のマッチング<br>・ひらがなの模写<br>・折り紙<br>・はさみで切る | ○A児      身体を伸ばして、高い位置にあるもの<br>を取ることができる。<br>課題を終えたことを、動作で伝えるこ<br>とができる。<br>★全て取り終える前にかごを渡そうとして<br>いるときには、指差しをしたり、課題を<br>一緒に確認したりして、やり直しを行<br>うよう促す。<br>○B児      はさみを使い、線をよく見ながら角を<br>意識して形を切り抜くことができる。<br>★切る際の姿勢を意識できるように、正<br>しい姿勢を写真で提示する。<br>★角を意識して切ることができるよう<br>に、角にイラストを貼っておく。<br>○C児      時計を見て「〇時」を答えることが<br>できる。<br>★間違えているときには、どこが違<br>うのかを一緒に確認し、やり直しを行<br>うよう促す。 | ◆A児      6つ全て取り<br>終えた後、かごを教師<br>に渡して課題を終<br>えたことを伝えるこ<br>とができたか。<br>◆B児      線に沿って、コ<br>の字を切ることが<br>できたか。<br>◆C児      6枚のカード<br>を正しくマッチン<br>グすることができたか。 |
| 4 あいさつをする。<br>※個別課題が終わり次<br>第、各自教師と行う。   | ★姿勢を整え、教師に注目してから号令をかける。   |  |

(3) 準備

- ・ムーブメントスカーフ
- ・ハンガー
- ・果物に見立てたボール
- ・各自個別課題

(4) 場の設定

- 1 あいさつ
- 2 集団学習



- 3 個別学習
- 4 あいさつ

